

TECHNICAL INFORMATION

SFX 200

赤外感光性モノクロフィルム

イルフォードSFX200は特殊用途の中庸感度黒白写真フィルムです。740nmまでの赤外領域まで感光性を備えています。SFX200はフィルターを用いることで特殊効果を得られます。ディープレッドフィルターを用いることで、空は限りなく黒に描写され、緑色の植物はほとんど限りなく白に描写されます。その特異なトーン描写は人物・風景・町並・建築物等の被写体に対して大変独特な結果をもたらします。通常、最良の結果は直射日光やスタジオのタングステン光の下で得ることが出来ます。また、SFX200はフィルターの使用にかかわらず、一般の撮影で良好なコントラストを実現するためにフルパシフィック感度領域を持っています。

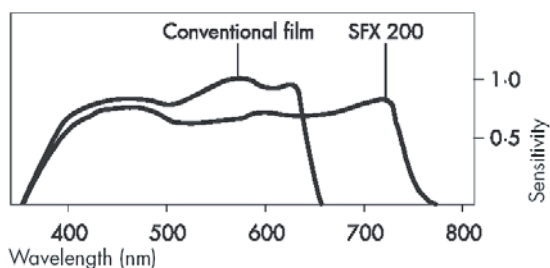
製品概要

SFX200は0.125mmのグレーアセテートベースに塗布されています。これにより良好なアンチハレーション効果があります。SFX200は35mm36枚撮と120サイズをご用意しています。

露光指数

SFX200の感度はデイルイトでISO200/24°です。このISO感度はイルフォードID-11を用いて20°C、小型丸タンク、間欠攪拌で10分現像した場合の数値です。SFX200に最適なEIはISO感度をベースにすべきでなく、あくまで試し撮りをしての現実的な評価をベースにして下さい。

分光感度



SFX200の赤外感度のピークは720nmで、740nmまで感度があります。

フィルターの使用

黄色・オレンジ色、赤色のフィルターであれば使用できます。しかし、その効果は分光透過特性により変化します。フィルターがより赤であれば、その効果はより大きくなります。

フィルター一覧 (Kodakラッテンフィルター)

フィルター No.	フィルター色	露出倍数
Kodak Wratten		
3	淡黄色	2
8	黄色	2
12	濃黄色	2.3
15	超濃黄色	2.4
21	橙色	2.4
23a	赤橙色	2.5
25	赤色	2.8
29	濃赤色	3
89B	超濃赤色	16

・超濃赤色フィルターワーク
B+W RG665/092、Heliopan695/715、HoyaR72、コダック89Bのフィルターをご使用になると他のフィルターを使用される場合に比べさらに劇的な効果が得られます。しかしながら、長時間露光になりますので三脚のご使用をお勧めします。

・濃赤色フィルターワーク
B+W091、Heliopan29、コダックWratten29、Rodenstock 29のフィルターをご使用になると赤フィルターを使用される場合に比べより劇的な効果が得られます。

・赤フィルターワーク
B+W090、CromatekHC4、Cokin003、Hitech25、Hoya25A、Jessop R2、コダックWratten25、Lee25、Rodenstock25のフィルターをご使用になりますと、その効果は非常に鋭敏になります。通常のパシフィックフィルムのこれらのフィルターを使用した場合と同じようになります。

カメラへの装填

SFX200フィルムの装填は完全赤外フィルムの様に完全暗室での装填である必要はありませんが、直射日光は避けて日陰などで行なう必要があります。

フォーカス

ご使用のレンズによって赤色光のフォーカスは他の可視光に比べて多少異なります。これらのレンズにおいては、赤色光に比べて白色光をフォーカスする際、フォーカスシフトが起こります。しかしながら、濃赤色フィルターを使用したカメラをフォーカスするのは難しいので、広角～標準のレンズを使用する際は絞り込んで撮影することにより容易に解決できます。アポクロマートレンズを使用する場合はその調整は必要ではありません。

露光

SFX200を初めてご使用される場合は、ある程度の試し撮りをする必要があります。ガイドとして、露光のブラケット機能のあるカメラをご使用の場合は、標準から±2絞りで撮影して下さい。

プロセス

SFX200は全てのモノクロフィルム用現像機器での処理が可能です。

現像時間

現像時間 35mm・120フィルム 小型丸タンク・深タンク現像 (分/20°C)

ILFORD 現像液	希釈率	露光指数		
		EI 200/24	EI 400/27	EI 800/30
ID-11 (新液)	原液	10	14	18
	1+1	17	-	-
PERCEPTOL (新液)	原液	14 ½	-	-
	1+1	20	-	-

攪拌

小型丸タンク、深タンクを使用される場合は間欠攪拌を行なって下さい。小型丸タンクの場合、最初の10秒間に4回倒立して下さい。その後1分毎に10秒間で4回倒立して下さい。

停止、定着、水洗、リンス

良好な結果を得るために、全ての処理は同一温度を維持して行なうことをお勧めします。現像温度は±5°C以内にして下さい。

停止

現像後フィルムを水洗します。その際、イルフォードイルフォストップのように酸性液のご使用をお勧めします。

停止液	ILFOSTOP
希釈率	1+19
処理温度	18-24°C
時間 (秒) 20°C基準	10
処理可能本数 (1Lあたり)	15本(135-36)

上記処理時間は最小必要時間です。必要に応じ処理時間を長く取って下さい。

定着

イルフォードラピッドフィクサーをお勧めします。

定着液	ILFORD RAPID FIXER
希釈率	1+4
処理温度	18-24°C
時間 (分) 20°C基準	2-5
処理可能本数 (1Lあたり)	24本(135-36)

ラピッドフィクサーを硬膜剤とともにご使用することはできません。一般的に、現在のフィルムは製造段階で十分な硬膜処理がなされていますので、更に処理段階での硬膜処理は必要ありません。

水洗

イルフォードラピッドフィクサーの様に無硬膜タイプの定着では処理温度の±5°C以内で流水に5-10分フィルムを水洗して下さい。

小型丸タンクをお使いになる場合、次の処理方法で水洗を行なうと早く、使用する水の量を少なく、しかも長期保存性を良くします。

定着後、小型丸タンクに処理液温度の±5°Cの水を入れ、5回倒立して下さい。その後タンク内の水を排出し、再度水を入れ、10回倒立して下さい。再度水を排出後水を入れ、最後に20回倒立して下さい。水を排出して水洗を終了します。

乾燥

乾燥跡をなくすために以下の点をご注意下さい。SFX 200を水切りする際はスクイージーもしくは写真用スポンジをご使用下さい。乾燥は、温風乾燥機を使用する場合は30-40°C、自然乾燥の場合は埃の無い場所で室温にて乾燥して下さい。

プリント

SFX200はパナクロマチックフィルムと同様にプリントできます。ロールフィルムをお使いの経験者はSFX 200が他のイルフォードフィルムと多少異なると感じるでしょう。しかし、最終プリントには何ら影響を及ぼしません。

プリントに際しては、イルフォードマルチグレード印画紙をお勧めします。

保存

乾燥した10-20°Cの冷所でオリジナルパッケージのまま保存して下さい。

露光済フィルム

フィルムを露光した後、なるべくお早めに現像処理を行なって下さい。露光しても未処理のフィルムの画像は適正に保存されれば数ヶ月は劣化しません。

ネガ保存

処理済みネガは乾燥した10-20°Cの冷暗室で保存して下さい。